

判決例/渡邊安積(講義) ; 中山和吉(編輯)  
(英吉利法律講義録(1886(明治 19)年度 第 1 年級))

このPDF ファイルは、英吉利法律講義録(1886(明治 19)年度 第 1 年級)(原裝本デジタル・データ)から、判決例の部分を抽出して編集したものである。

2015 年 7 月 中央大学大学史資料課

判決例

法學士 渡邊安積 講義

緒言

中山和吉 編輯

判決例ヲ講スルニ先ダ千余ハ一言諸君ニ告ク可キ者アリ  
 抑英吉利法律ハ判決ヨリ起リ法理ハ判決ノ事實ト錯綜スルカ故ニ苟  
 英國法理ヲ考究センニ欲スル者ハ必スヤ判決例ヲ講セサル可カラ  
 サルナリ七八年以前ノ事ナリキ余ハ大學ニ在リテテリー先生ニ就キ  
 契約法ノ講義ヲ聞キシコトアリシカ氏ハ啻ニ契約法ノ敎課書ノミ  
 ナ以テ敎授スルニ止マラス契約ノ判決ヲ蒐集セルノ書ヲ以テ契約ノ  
 敎課書ト對照シ逐次講習セシメラレタリ余カ今判決例ヲ講スルニ當  
 リテモ諸君ニシテ英語ヲ能クスルナレハ余モ亦テリー先生ト同様ノ方  
 法ヲ以テラングテル氏ノ「セレクト、ケーセズ、チン、ゼ、コントラクト」ナル

判決例

書籍ヲ以テ最初ヨリ順チ逐フテ講究セント欲スレトモ如何セン此級ハ英語ヲ以テ講究スルコトヲ得ズ左レハ日本語ノ判決例ニ依リテ講習センカ其書無キニ苦シム是ニ於テカ余ハ英米ノ原書ヲ採リテ判決ノ事實ヲ講シ諸君ヲシテ筆記ノ勞ヲ探ラシムルノ止ムヲ得サルニ至レリ

夫レ判決例ヲ講究スルハ其事實ヲ知り其判決ヲ觀ルノ爲メニアラス其判決ノ要點ヲ探出スルニ在ルナリ故ニ先ツ原告請求ノ旨趣并被告答辨ノ要點ヲ探リ次に其判決ノ要點ト裁判官ノ意見トヲ判別シ研究スルヲ要ス蓋英米判決ニハ判決文ト判官ノ意見ト混淆スルコトアルヲ以テ此ノ二者ノ區別アルニ係ラズ往々判官ノ意見ト判決トヲ同一視シ判官ノ言即判決ナリト誤認スル者アリ誤ノ甚シキ者ト云フ可シ判官ノ意見トハ判官其事實ニツキ各自其意見ヲ陳述スル者ニシテ必ス

シモ判決ニ緊要ナル者ニアラズ判決例ヲ讀ム者ハ此判官ノ意見ヲ攷究討論スルハ最大必要ナル者ナリ而シテ前學年ニ於テハ判決例ハ澁谷君ノ受持ニシテ君ハ近來ノ判決集ヲ用ヒ其内ヨリ珍奇ナル事柄ヲ撰出シテ講セラレシカ是亦一箇ノ方法ニシテ諸君ヲ益スル蓋鮮少ナラスト雖モ余ノ考究ノ方法ハ之ニ異ナリ法律各科ニツキ重要判決例ヲ採リテ講セントス此ノ重要判決例ハ中ニハ年代古キ者モアリト雖トモ皆英米大家ノ認メテ後世ノ模範ト爲ス者ナレハ先ツ之ヲ講習スルハ最モ捷徑ナリト信スルナリ然ルニ重要判決例ニハ英ト米トノ二種アリ英ノ分ハ之ヲ「スミス、リーソン、グ、ケーセス」ト云ヒ米ノ分ハ之ニ倣ヒシモノニテ「アメリカン、リーソン、グ、ケーセス」ト云フ英ノ方ハ其書物無ク止ムヲ得ス先亞米利加ノ方ヲ以テ講筵ヲ開カントス而シテ此書ニハ先ツ事實ヨリ判決ニ至ルノ總テヲ掲ケ次ニ著者ノ註解ヲ下タセリ此

約 幼者ノ契 <sup>v</sup> Of the legal capacity of infants and their liability ex contractu and ex delicto.

註解タル非常ニ有用ナル者ニシテ余輩ハ現ニ大學ニ在リテ此書ヲ用  
 井テ法理ヲ考究シ大ニ裨益スル所アリタリ左レハ余ハ先第一ニ幼者  
 ノ能力ニ關スル訴件ヨリ講セント欲ス

<sup>v</sup> 幼者ノ法律上ノ能力及其契約又ハ私犯上ノ義務

々ツカル外一人對モアランド

亞米利加合衆國上等裁判所ニ於テ

一千八百三十六年一月ノ開庭期 シエニユアルリ、ターム

幼者ノ取消シ得ヘキ行爲其無効ナル行爲及其取消シ得ヘキ行爲  
 ナ取消ス方法

本訴ハコロンビア州巡回廳へ誤判匡正ノ訴ヲ爲シタル者ナリ

本訴ノ初審ハタツカル誤判匡正訴ノ原告ヨリモアランド(同訴ノ被告

ニ對シ占居セル地面ヨリ被告ヲ追出ス訴訟ニシテ原被告共ニ其土地ノ

事實

所有權ヲバルリーナル者ヨリ得タリト主張セリ事實ヲ案スルニバル  
リーハ此論地ノ所有者ニシテ一千八百三十一年十一月一日ニ於テ該  
地ニツキウチラツクナル者ニ一ノ証書ヲ與ヘタリ而シテ其証書ニ記  
載スル要旨ハ先ツ序言ニバルリー及ビングハダツカル及トムソンニ  
對シ三千二百三十八弗ノ負債アリ其償却ノ爲メ記載目ノ後六ヶ月ニ  
支拂ヲ爲ス可キ約束手形ヲ與ヘ且其支拂ヲ保証スル爲メ土地讓渡ヲ  
爲ス可シトノ事ヲ陳述シ更ニ曰ク此証書ハ次ノ十二月ノ第一日後十  
日ヲ經ルモ手形ノ支拂ヲ爲サハル時ニ賣拂ヲ爲スヌメニ此土地ヲウ  
チラツクニ讓渡シ置ク者ナリトアリ然ルニ該手形ノ支拂ヲ怠タリタ  
ルヲ以テ一千八百三十三年二月二十三日ニ於テウチラツクハ該土地ヲ  
賣拂ヒダツタル及トムソンハ之ヲ買取り同年三月七日ニ彼ノ証書ヲ  
請取リタリバルリーハウチラツクハ証書渡シタル後引續キ一千八百

被告所有  
權ヲ獲マ  
ル證據

判事ノ論  
告

三十三年二月八日マテ彼ノ土地ヲ占有シタルカ右同日ニ於テ該地並  
他ノ土地ヲ其母エリザ、モアランドニ讓渡ス証書ヲ交附シタリ蓋ハル  
リ一ハ其母ヨリ一千一百三十八弗ノ負債アリシヲ以テ母ヨリ出訴セ  
ラレ其償却ノ爲メニ該地ヲ讓渡シタル者ナリ而シテウチラツクカ該地  
ノ賣却ヲ爲シタル時ニ當リ被告モアランドハ該地ニツキ自ラ所有權  
ヲ有スルコトヲ公ニ廣告シ且之ヲ自己ノ完全ナル所有權ニ屬スル者  
トシテ公ニ要求シタリ加之被告ハ審判ノ際證據ヲ提出シテハルリー  
カウチラツクヘ証書ヲ渡シタルトキハルリーハ猶二十一歳未滿ノ幼  
者タルコト及バルリーヨリ被告ヘ証書ヲ渡シタルトキニハ彼ハ滿二  
十一歳ナリシコトヲ証明シタリ

此証據ニ基キ被告ノ代言人ハ裁判官ヨリ左ノ如ク事實ノ判定ヲ爲  
サンコトヲ陪審官ニ命セラレンコトヲ請求セリ曰ク陪審官ニ於テ茲

判決

ニ提供シタル証據ヲ以テ眞實ノ者トセハウナラツクヨリ原告ニ渡シ  
タル証書ハ所有權ヲ原告ニ讓渡ス可キ者ニアラス從テ原告ハ此本訴  
ノ要求ヲ爲シ得サル者ナリト而シテ裁判官ハ此申立ノ如ク陪審官ニ  
命シタリ是レ則原告カ今誤判匡正ノ爲メ故障ヲ陳述スルノ第一理由  
タリ

右ノ論點ニツキストリ一判事ハ裁判所ノ意見トシテ左ノ如ク宣告セ  
レタリ

本訴ノ要領ヲ撮摘スレハ原告ハ地所ヲ恢復スル丈ケノ所有權ヲ有ス  
ルヤ否ヤ若シバルリーヨリウヲラツクニ與ヘタル証書ヲバルリーノ効  
者タル爲メニ全ク根原ヨリ無効ノ者トスルトキハ原告ハ地所恢復ヲ  
要求スル丈ケノ所有權ヲ得サルヤ論ヲ待タス之ニ反シテ該証書ハ全  
ク無効ナラスシテ只取消シ得可キ者ナリトスルモバルリーカ被告人

へ與へタル証書ニ依リテ前ノ証書ヲ取消シタル者ナリト見做シ得可  
キ時ハ其結果タル証書ノ無効ナルト異ナルコトナシ故ニ幼者ノ行爲  
如何ナル場合ニ於テ無効トナリ如何ナル場合ニ取消シ得可キ者ナル  
ヤヲ觀察セント欲ス

今英國判決例ヲ通觀スルニ諸說異同アリト雖モ要スルニ左ノ如クナ  
ルカ如シ即幼者ハ其作りタル証書嚴正ナルカ爲メニ全ク無効トセス  
シテ唯取消得可キ者トナル場合アリ然レトモ若シ其証書面ニ於テ其  
所爲タル明ニ被告ニ不利益ナルコトノ顯ハル、トキハ全ク無効ナリ  
トス此區別ヲ云ヒカユレハ左ノ如シ即幼者ノ証書ハ一般ニ取消得可  
キ者ニ止マル唯表面ニ幼者ニ不利益ナル場合ニ限り無効トナルナリ  
亞米利加法廷ニ於テモ此點ニ關シ異論百端ナリ判事ケントノ說ニ依  
ルニ幼者ノ行爲ハ一般ニ取消シ得可キ者トシ全ク無効ノ者トセサル

ト解釋セサル方ニ學者ノ議論傾向セリ故ニ丁年ニ達シタル時其行爲  
ヲ確認シ又ハ廢棄スルノ撰擇權ヲ有スル者ナリ其他幼者ノ土地讓渡  
ノ証書ハ表面ニ於テ幼者ニ不利益ナラサル外ハ單ニ取消シ得可キ者  
ナリトセリ

然レトモ本件ニ於テハ此証書ハ無効ナル者カ又ハ取消シ得可キ者ナ  
ルカノ別ヲ極ムルコトハ敢テ必要ニアラス何トナレハ單ニ取消シ得  
可キ者ナリトスルモ現ニ幼者カ之ヲ取消シタルコト明瞭ナルトキハ  
全ク無効ナルトキト同一様ノ結果ヲ得可ケレハナリ

サテ是ヨリ他ノ論點ニ移ル可シ則バルリーカウヲラックニ與ヘタル  
証書ハ單ニ取消シ得可キ者ナリト假定シタル上後ニテバルリーカ  
母モアランドニ與ヘタル証書ヲ以テ前ノ證書ヲ廢棄シ得タル者ト見做  
シ得ヘキヤ否ノ點ヲ攻究セン抑幼者カ其行爲契約若クハ證書ヲ取消

スノ方法タル各場合ニヨリテ異同アルトス或ハ地所ニ踏込ム如キ行爲ヲ以テスルコトアリ或ハ他ヨリ出訴セラレタルトキ答辨ヲ以テスル如キ或ハ賣買契約ヲ取消ス爲メ自ラ出訴スル如ク種々ノ方法アリ而シテ幼者ノ行爲記録ヲ以テシタル事柄タルトキハ其未丁年ニ達セサル間ニ同シク記録ノ所爲ヲ以テ取消シテ爲スコトヲ要ス然レトモ單ニ行爲ニ止マル場合ニ於テハ其レト同様ノ鄭重ヲ以テセル行爲ニテ取消シテ爲スコトヲ得且或ル先例ニ依ルニ其幼者タルノ際ニテモ又ハ丁年後ニテモ之ヲ取消スヲ得ルトセリ要スルニ取消ノ結果ヲ有シ得ル行爲ハ如何ナルヲ要スルカト云ハ、其取消サントスル所ノ行爲ノ性質ニ準シテ之ヲ定ムル者トス左レハ取消ノ行爲カ最初ノ行爲ト同様ノ鄭重ナル者ナレハ確ニ取消シノ効アル者トス尤モ取消シノ行爲ハ必ス前ノ行爲ト同一ノ鄭重タルヲ要スルト云フニハアラス

判決例/渡邊安積(講義)；中山和吉(編輯)

(英吉利法律講義録(1886(明治19)年度 第1年級))

11 ページ以降の講義録は非所蔵